

— 逃げキッドを使って —

マイ・タイムライン

をつくろう！



逃げ遅れゼロへ！



マイ・タイムラインってなに？

マイ・タイムラインは、河川の氾濫が起きそうな時に、余裕をもって逃げるために事前に考えておく、一人ひとりの生活にあった、オリジナルの避難行動計画です。「逃げキッド」は、そんなマイ・タイムラインを作るお手伝いをするための入門的なツールです。

川が氾濫するまでの一連の流れを理解し、発信される情報の種類や入手方法、使い方をすることで、どのタイミングでどのような準備しておくかを考え、整理することができます。

☆ 逃げキッドの使い方やタイムラインの考え方を解説した、「逃げキッド使い方ガイド」という動画も配信されています。下記のQRコードからご覧ください。



Youtube
逃げキッド使い方ガイド
国土交通省提供



動画を見ながら
自分でマイ・タイムラインを
作れるよ！



マイ・タイムラインのつくり方

「逃げキッド」で、3つのステップでマイ・タイムラインをつくることができます。

Step 1 洪水による自分の水害リスクをチェック

「マイ・タイムライン作成のためのチェックシート」を使って、あなたの家の状況を確認しましょう。

しらべ

洪水浸水想定区域でチェック

◆あなたの住んでいる場所の浸水深は？

◆あなたの住んでいる場所の浸水継続時間は？

◆あなたの住んでいる場所には避難階等避難指定区域はありますか？

はい いいえ

住所:

家族の状況チェック

車 口荷

ペット 口荷

持病者 口荷

避難に支障が必要な人(高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦)

避難先のチェック

あなたが避難する場所

防災避難所(約 分)

近くの公園(約 分)

自宅の地蔵(約 分)

■ 家庭の状況をチェック

洪水と避難に関わる、自分の状況を確認して、チェックシートに書き込みましょう。



■ 水害リスクをチェック

「洪水浸水想定区域図」で、①～③のことがわかります。

- ① 河川が氾濫したときの水深
- ② 浸水がどのくらいの間続くのか
- ③ 堤防が決壊した時に、家を襲すほどの力の水が流れると考えられる範囲

あなたの家にとどのような水害リスクがあるのかを確認して、「マイ・タイムライン作成のためのチェックシート」に書き込みましょう。

▶ 「洪水浸水想定区域図」は、国土交通省や都道府県のホームページで見ることができます。

浸水ナビ

洪水浸水想定区域図 ○○川



ポイント! この他にも、浸水しやすい低い場所を調べる方法などをパンフレットの裏面で紹介しています。

■ 避難先をチェック

ハザードマップなどで、自分が避難する先や、安全に逃げられる道順と、どのくらい時間がかかるか確認して、チェックシートに書き込みましょう。



▶ 「決りハザードマップ」は、市区町村で配布していたり、ホームページで見ることができます。

ハザードマップ ポータルサイト

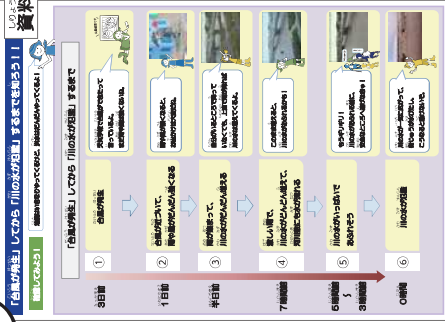
ハザードマップ ○○市/区/町/村

Step 2 川が氾濫する前に備えるべき行動をチェック

「資料1」と「資料2」を使って、あなたの家の状況を確認しましょう。

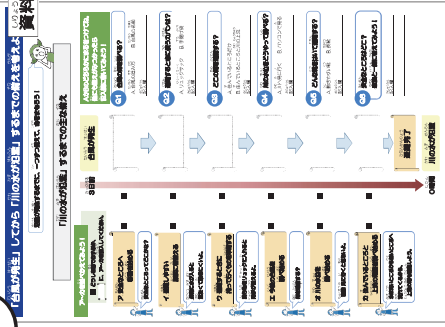
まなぶ

台風発生から川が氾濫するまでの段階をイメージする



かんがえる

避難するための備えを、どんな順番で準備するか、並べかえてイメージする



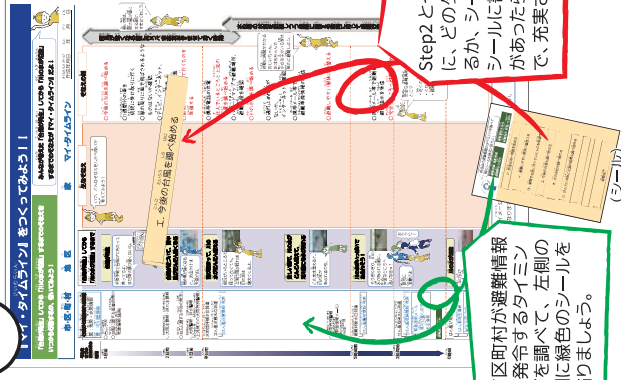
備えの順番には、これが絶対! という正解はありません。それぞれの状況に合わせた順番を考えておくことが大事です。



Step 3 マイ・タイムラインをつくってみよう!

つくる

受け取れる情報をもとに、避難のタイミングをイメージして準備する



ポイント! 完成したら、いつでも見える所に貼っておきましょう!

マイ・タイムラインを見直そう!

マイ・タイムラインは、一度作ったから終わり、というものではありません。まち歩きをして、避難路を再確認したり、ご近所の方と相談しながら、今の自分の生活に合わせて、マイ・タイムラインを見直していくことが大切です。

